



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



穏やかな1年を願って

2024年、令和6年の始まりです。

例年より暖かな年末となり「暖冬かしら。」と呑気に過ごしていましたが、1月1日の能登半島地震が穏やかな状況を一変させました。北陸地方や新潟での状況が明らかになるにつれ、甚大な被害が続々と報道されました。2日は日航機と海上保安庁の輸送機による衝突事故、3日は北九州市飲食店街の大規模火災など、年始から痛ましい事件や事故の報道があり、落ち着かない日々が続いています。警察関係者や自衛隊、自治体職員や災害ボランティアの皆様などが現場に駆けつけ、懸命な救助や支援に当たられていることに感謝し深い感銘を受けています。「何としても助けるぞ。」という強い意志、気迫を感じます。ありがたいことです。災害により亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに被害に遭われた皆様が一刻も早く平穏な日々を取り戻すことができるようお祈りいたします。



1日は、揺れとともに津波警報が発せられ、私が学校に到着したときには避難所である体育館前の駐車場は満杯でした。非常階段に避難した方もいらっしゃいました。巡視後、学校施設の異状は認められませんでした。1階である体育館では津波に対して不安を感じる方もいらっしゃると思います。今後はスムーズな垂直避難のあり方（校舎の2、3階に避難）について支所からの指導を受けながら対応していきます。日本は地震大国です。一寸先は闇、天災は忘れた頃にやってくるとも言います。最悪を想定して危機管理意識を高め、準備に努めます。

さて、9日に始業式を行い、令和5年度の3学期がスタートしました。子どもたちが大きな事件や事故に遭わず、無事に集えたことをうれしく思いました。新年のスタート、3学期のスタートという節目を大切に、次の学年に進級するという意識を高めながら各学年の総まとめに励んでほしいと思います。

今年は辰年

平成6年頃、私は「タツノオトシゴ」を飼育したことがあります。と言ってもわずか3日ですので、飼育とは呼べないですね。当時、私は栗島浦小学校に勤務しており、地元の漁師さんが「先生、珍しいの捕れたぞ。」と体長5cmほどあるタツノオトシゴの幼体を学校へ持ってきてくださったのです。すぐさま60cm水槽を用意し、子どもたちと一緒に浜へバケツを持って海水を汲みに行きました。6年生3人の学級でした。濾過装置を設置し、わくわくしたのを覚えています。しかし、えさが何か分かりません。今ならインターネットを利用して情報を得ることができますが、当時は凶鑑くらいしかなく、よく分かりません。私は、「なかなか得がたい経験なので飼ってみようよ。」と提案したのですが、結局、子どもたちから「えさがないと生きられない。かわいそうだから逃がそうよ。」ということになり、港へ逃がしに行きました。今年は辰年ということで、「そういえばこんなことがあったな…」という思い出でした。 (校長 南波裕)

コンクール入賞者

コンクール・発表会・大会において、下記のように素晴らしい成績を収めました。
入賞を果たしたみなさん、おめでとうございます。



新潟県ジュニア美術展覧会

奨励賞 4年 野澤 知世さん 武者 茉白さん
2年 武者 瑠さん

村上市岩船郡PTA主催 児童生徒図画展覧会

1年 田中 開琉さん 2年 武者 瑠さん 3年 田村 堇さん
4年 貝沼 寧々さん 5年 小池 悠葵さん 6年 瀬賀 琉衣さん

社会を明るくする運動作文コンテスト

6年 齋藤 瑠愛さん 「あいさつで理想が現実に」

第11回 税に関する絵葉書コンクール

村上法人会会長賞 6年 阿部 ひなのさん

いきいきわくわく科学賞2023

小学校高学年(5・6年)の部 奨励賞 6年 齋藤 瑠愛さん
「いちばん保冷効果があるものを探せ！」

サケのあかちゃん誕生



今年度も総合的な学習の時間でサケの卵をふ化させています。12月から水槽に入れて毎日、4年生が当番で観察しています。例年より暖かい日が多かったので、冬休み中に一斉にふ化するかと心配でしたが、3学期になってから順調に生まれています。3月の放流に向けて、大事に大事に育てていきます。